

I 第43週の発生動向 (2016/10/24~2016/10/30)

- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で、**注意報**が発令されました。むつ保健所管内では、2016年に入ってから患者報告数が最も多くなり、2度目の注意報発令となりました(最初の注意報は第40週)。
- マイコプラズマ肺炎は、むつ保健所管内で、患者報告数の増加が続き、過去10年間で最も報告数が多くなりました。冬に報告数がやや増加する傾向があるため、引き続き注意が必要です。

II 第43週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

小児科 内科	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南		三八		西北		上北		下北		青森県計		前週からの 増減		
		(弘前保健所)		(八戸保健所)		(五所川原保健所)		(上十三保健所)		(むつ保健所)						
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
インフルエンザ														0		
小児科	RSウイルス感染症	6	0.75	10	1.11	1	0.10	15	3.00	3	0.50	2	0.50	37	0.88	-6
	咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	4	0.40	2	0.40					10	0.24	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	11	1.22	24	2.40	2	0.40	1	0.17	9	2.25	51	1.21	-17
	感染性胃腸炎	43	5.38	20	2.22	28	2.80	3	0.60	2	0.33	3	0.75	99	2.36	14
	水痘							1	0.20	1	0.17	1	0.25	3	0.07	1
	手足口病	1	0.13	12	1.33					5	0.83	1	0.25	19	0.45	7
	伝染性紅斑	1	0.13	1	0.11					1	0.17			3	0.07	0
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	6	0.60	1	0.20	2	0.33	4	1.00	19	0.45	3
	百日咳															-1
	ヘルパンギーナ	6	0.75	4	0.44	5	0.50	4	0.80	4	0.67	3	0.75	26	0.62	-6
流行性耳下腺炎	4	0.50					4	0.80	1	0.17	21	5.25	30	0.71	14	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00	2	2.00	5	2.50			11	1.00	1
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										18	18.00		18	3.00	0
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

急性脳炎

(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、
日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) (五類全数把握疾患)

急性脳炎は、ウイルス、細菌、寄生虫など種々の病原体による脳組織の炎症に起因する疾患群の総称です。

病原体も多種であるので、症状も様々です。一般的には、最初は発熱、頭痛などの非特異的
症状で始まる事が多く、小児では不機嫌、腹部膨満、悪心、嘔吐などの症状も見られます。その後、神経障害に起因する症状が急激に、あるいはゆるやかに出現します。種々の程度の意識障害、奇異行動、けいれんなど多彩な症状が見られることもあります。

過去5年間、全国では、2013年に僅かに減少したものの、増加傾向にあり、2015年に最も多い511人の患者が報告されました(図)。青森県においては、2014年に最も多く11人の患者が報告されましたが、2016年は第43週までに患者が報告されていません。予防については、ワクチンがない疾患に対しては個々の病原体の感染経路に応じた対策が必要となります。

○詳しくはこちらをご覧ください→[国立感染症研究所\(急性脳炎\)](#)

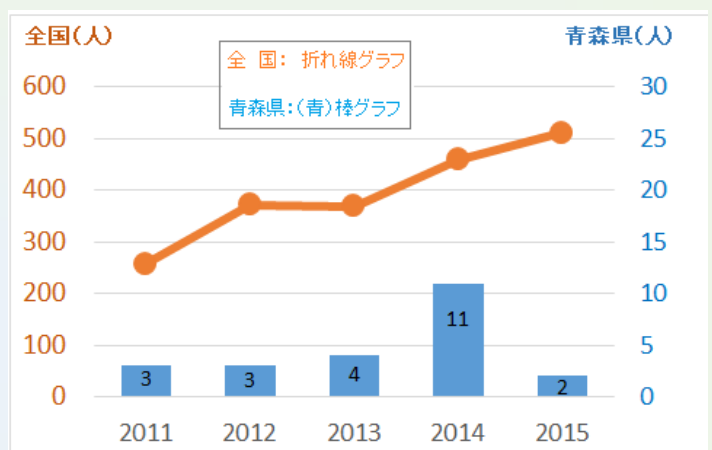


図 全国と青森県内の脳炎患者報告数 (2011年~2015年)

III 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市3人、八戸1人、五所川原2人 (2016年計:246人)
- ・細菌性赤痢(三類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計: 2人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計: 95人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患)：東地方+青森市2人 (2016年計: 7人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計: 4人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計: 14人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第40週～2016年第43週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	H28.10.3 ~ H28.10.9	細菌性赤痢1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人
41	H28.10.10 ~ H28.10.16		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	後天性免疫不全症候群1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 梅毒1人			
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		細菌性赤痢1人 アメーバ赤痢1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016年第40週～2016年第43週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	H28.10.3 ~ H28.10.9		2	3			
41	H28.10.10 ~ H28.10.16	1	2	1		1	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	2		1	1	1	
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	3		1	2		

VII 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第42週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	19353	8	103	3147	50	15	319	238	18	5
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回歸熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	9	50	1	12	101	300	226	8
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	44	7	1289	65	930	232	1212	641
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	13	144	411	1176	56	249	38	2040	245	3597
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	107	105	46	113	155	32				

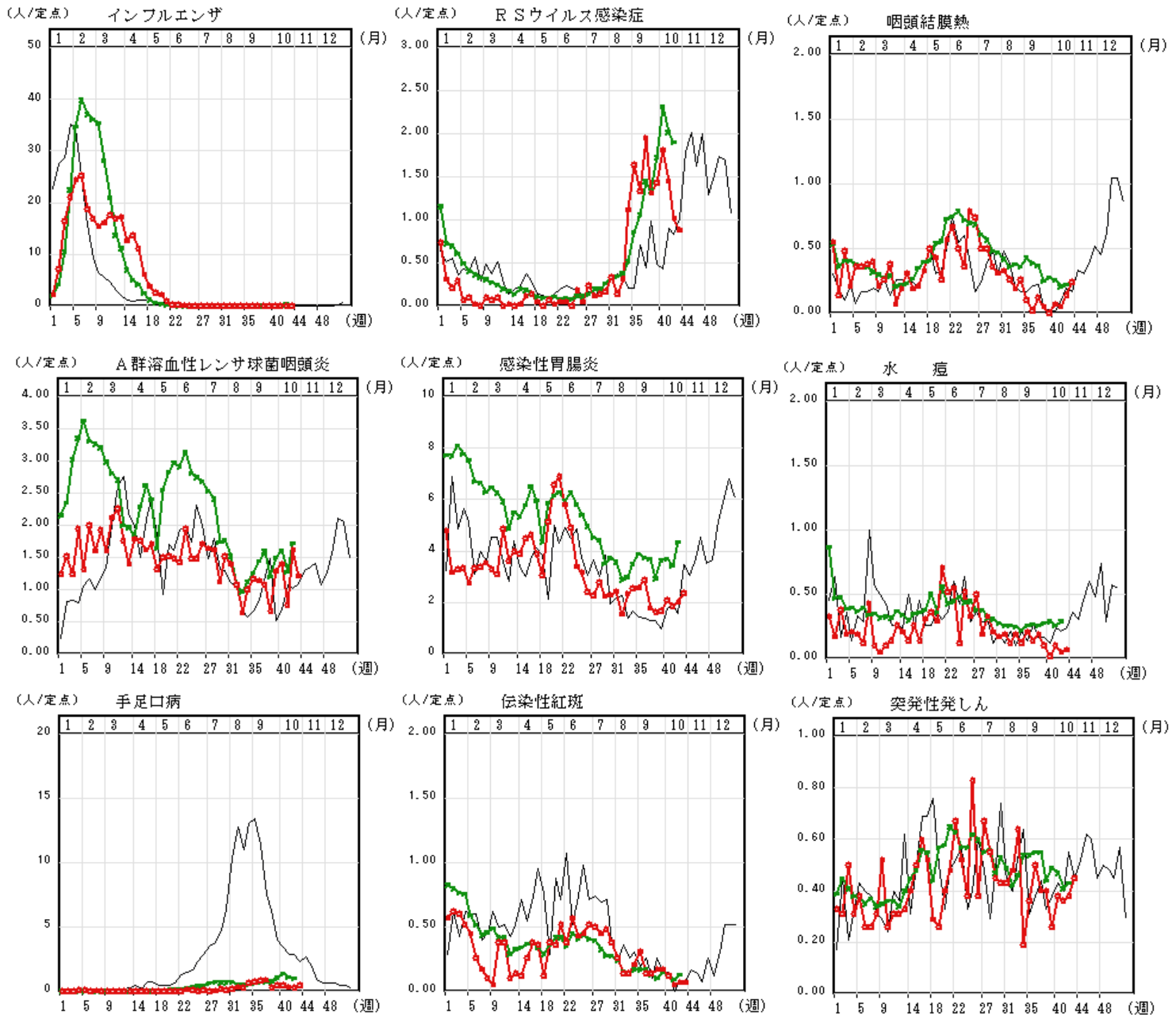
青森県 (2016年第1週～第43週累計)

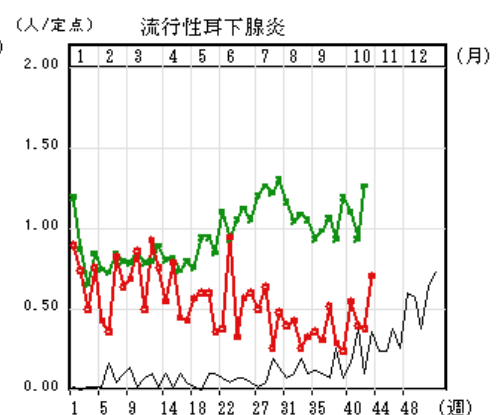
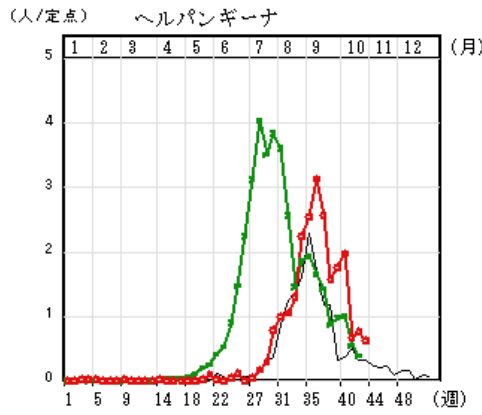
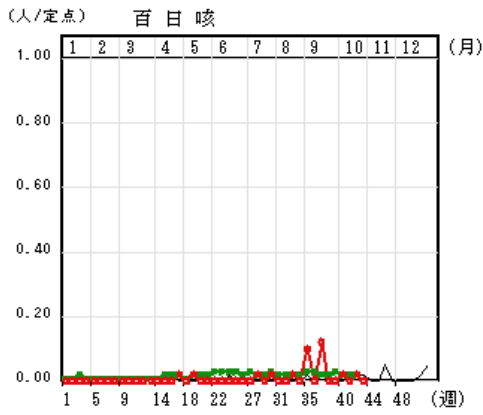
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	
累積報告数	246	2	95	5	3	1	7	5	4	14	

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	3	3	3	8	3	18	1

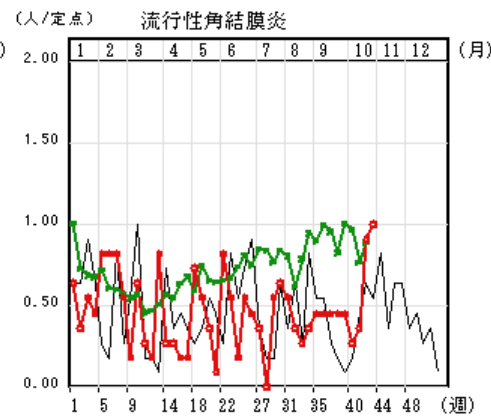
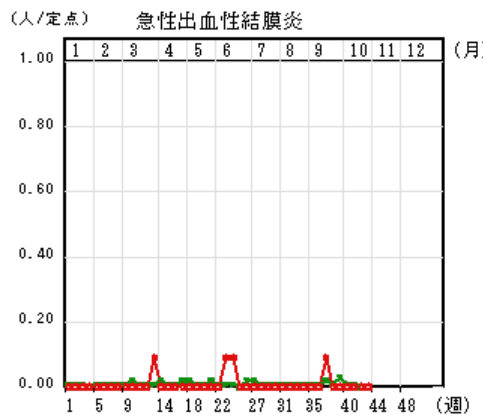
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第43週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、—は2015年青森県、×—×は2016年全国





IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第43週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第43週、ただし全国は前週)

